統計調査等業務の業務・システムの見直し方針(概要)

電子政府の取組の一環として、全府省で行われている統計調査等業務について、府省横断的に業務・システムを見直す方針を作成（最適化計画の骨子）。

ITを積極的に活用し、利用者本位の業務・システムの整備を図り、あわせて経費・業務の簡素・合理化、安全性、利便性の向上を図る。

各府省の情報システムの集約 （共同利用型システムの整備）

政府全体として効率的なシステム投資及びシステム運用業務の効率化を図るため、従来、各府省で区々に開発・運用していた統計関係の情報システムを集約し、各府省共同利用型のシステムを整備。

統計調査のオンライン化の推進

調査手法の多様化を図り、調査に協力しやすい環境作りに資するため、現行の統計調査方式と併用又は代替が可能なオンライン調査を順次導入。

統計利用に係るワンストップサービスの 実現

利用者本位の情報提供を図るため、インターネットによる情報提供を推進するとともに、各府省のホームページの構成、用語等の共通化を図り、統計情報が一元的に利用可能なワンストップサービスを実現。

業務の簡素化・合理化

業務の簡素化・合理化を図るため、業務処理の共通化、一元化・集中化、取り扱う情報の標準化、外部資源の活用等を推進。

本方針を踏まえ、平成17年度にアクションプラン（最適化計画）を策定し、具体的な取組に着手。